



中野キャンパス

看護学研究科

看護学専攻(修士課程)

Graduate School of Nursing Science | Master's Program in Nursing Science

高度専門職業人として、専門性の高い看護実践能力と 看護教育・研究能力を有する人材を養成します

帝京平成大学の学是である「建学の精神」(当該『GUIDE BOOK』の最初に明示)は、「実学の精神を基とし 幅広い知識と専門分野における実践能力を身につけ 創造力豊かな逞しい 人間愛にあふれた 人材を養成する」です。この学是のもとに設置された看護学研究科 看護学専攻(修士課程)の目的は、「本学の建学の精神に則り、高度専門職業人として、複雑化・高度化する医療保健福祉分野における課題を広く理解し、専門性の高い看護実践能力と看護教育・研究能力を有する人材を養成する」ことです(帝京平成大学大学院学則)。

昨今の世界的な感染症の蔓延、多発する自然災害、急速な少子高齢化などは、医療・看護・保健活動の場においても様々な問題を私たちに突きつけています。これら山積する課題を、学際的な視点から探求・分析し、解決に導くためには「専門性の高い看護実践能力」が必要不可欠です。

本研究科では、2020年度から、8つの看護領域(基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、精神看護学、母性看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学)を配置し、徹底した実学教育のもと、高度な「看護実践能力」および「看護教育・研究能力」を修得し、社会に貢献できる人材を養成いたします。

研究科	専攻	在学期間	修得単位及び条件	学位
看護学研究科	看護学専攻	2年以上4年以下	●30単位以上 ●学位論文の審査及び試験に合格した者	修士 (看護学)

Message

学際的な視野から、現代社会における看護課題を自ら考究し、その成果を看護実践に生かすことができる研究者を養成します

～看護「学」という学問を通して、「考える力」を一緒に鍛えましょう～

本研究科の「学位（修士：看護学）」授与要件（ディプロマ・ポリシー）は、「●現代社会における看護課題を自ら探求・検討・構造化する能力、●分析した看護課題に対し解決策を提言できる能力、●人間の尊厳と権利を擁護し倫理的に研究を推進する能力、●他の専門職と協働し研究成果を実践に生かすことができる能力」などです。何れのスキルにおいても、「考える力」が不可欠です。

さて、私が大学院在学時に恩師から頂戴した、次の「ことば」は「考える力」を鍛える原動力になりました。「“考える力”のない人は、実社会では淘汰されます。大学院では教えてもらったことを鵜呑みにするのではなく自分なりに反芻してみなさい。人は“考える力”によって育てられ、鍛えられ、“人財”になります」「問題（研究テーマ）は何か、問題はなぜ存在するのか、問題に対して何ができ、何をすべきなのかという“明確な問題意識”こそが研究に取り組むためのスタートです」

研究に真摯に取り組み、学際的な視点から看護課題について考究し、その研究成果を実践につなげていくことができる意欲のある方、「考える力」を一緒に鍛えましょう。



看護学研究科長

吉澤 千登勢 Yoshizawa Chitose

特 色

個々の研究課題に即した高度な専門知識・技術を修得するとともに、基礎的な分析研究能力や様々な看護現象を自ら実践的に探究する能力を修得することができます

自身が関心のある8つの看護領域（基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、精神看護学、母性看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学）において、高度な専門知識や技術を系統的に学び、研究が推進できるよう、カリキュラムを配置しています。また各領域のゼミ（看護学特別研究）において、指導教員が研究の推進・修士論文の完成にむけて熱心に指導いたします。

講義・ゼミなどは、中野キャンパス（中野）・ちはら台キャンパス（千葉）で開講します

入学時に自身が関心のある看護領域を選択し、当該領域が属するキャンパスにて講義やゼミを受講することができます。自身が通学しやすいキャンパスで学修することが可能です。

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

看護学研究科 看護学専攻（修士課程）

看護学研究科 看護学専攻（修士課程）は、その教育・研究目的を達成するために、建学の精神に則り、以下の入学者を求める。

- 1 自らの看護課題について具体的な問題意識をもち、今後のこれらの分野における看護実践に関して熱意をもっている。
- 2 生命倫理・医療の倫理を尊重しながら看護研究とその実践に取り組む積極性と行動力を備えている。

研究指導内容／修士課程

※研究指導内容／修士課程等は変更になる場合があります。

研究指導分野	研究指導内容
看護倫理学、医療倫理学/ 看護教育学/基礎看護学/ 専門職連携教育	◇看護、医療倫理学：ジレンマ（分析、調整、評価）・倫理教育・ハンセン病 ◇看護教育学：学士力/教育力の育成 ◇基礎看護学：看護の歴史、理論、初年次教育 ◇連携教育：チーム医療、連携実践
更年期女性のヘルスケア/ 産褥期ケア/ウィメンズヘルス	◇更年期女性にヘルスケア（身体面・心理面・社会面へのアプローチ） ◇高齢出産における産後ケアの問題 ◇女性の健康問題
糖尿病学（生活習慣病の 予防と管理）/公衆衛生学 （公衆衛生看護）	◇地域包括ケアシステムにおける糖尿病チーム医療 ◇特定健診・特定保健指導における糖尿病予備群および糖尿病要指導者の行動変容 ◇糖尿病性腎症重症化予防のための地域医療連携システムの構築
フィジカルアセスメント	◇要看護対象者の健康状態を解析するために必要な基本的思考法 ◇要看護対象者の全人的理解と援助の基盤となる専門的知識について （看護内容、コミュニケーション方法、心身の安全・快適さ）
看護倫理学/基礎看護学	◇看護倫理や基礎看護学の看護の本質：対象、健康・環境、看護
成育看護学	◇小児疾患を抱えキャリアオーバーしていく子どものヘルスプロモーションやヘルスマンパワーについて ◇小児がん経験者やキャリアオーバーの子どもやその家族が抱える問題について
社会医学、看護学および その関連分野/高齢者看護 学および地域看護学関連	◇神経難病/ターミナル利用者への在宅療養支援 ◇高齢者虐待と共依存関係 ◇訪問看護ステーションの管理運営、教育体制、グローバルな視点による訪問看護 ◇訪問看護師のフィジカルアセスメント
地域看護/ 地域ケアシステム	◇保健事業の計画立案や評価に関すること ◇保健師の現任教育に関すること ◇在宅生活支援や多職種連携
小児科学・ 未熟児新生児学	◇携帯型医療機器を用いた新生児・乳児の訪問プログラム ◇新生児・乳児訪問における小児科医へのコンサルト（児の全身状態の観察と確かなアセスメント力）
公衆衛生看護学	◇保健行動の変容 ◇職場の健康問題 ◇学校保健
遺伝学/感染学	◇さまざまな遺伝病や遺伝医学について ◇さまざまな感染症と、感染管理の基礎と応用について
文化と助産・看護/ 国際看護	◇グローバル社会に必要な看護職の文化対応能力と文化を考慮した助産・看護 ◇国際母子保健/看護の課題と具体的支援 ◇妊娠出産育児に関する文化的慣習等の歴史や現代的諸相 ◇助産・母子保健政策

看護学研究科 看護学専攻（修士課程）授業科目一覧

※授業科目等は変更になる場合があります。

科目区分	授業科目
専門領域科目	◆基礎看護学実践特論Ⅰ
	◆基礎看護学実践特論Ⅱ
	◆基礎看護学実践演習
	◆成人看護学実践特論Ⅰ
	◆成人看護学実践特論Ⅱ
	◆成人看護学実践演習
	◆老年看護学実践特論Ⅰ
	◆老年看護学実践特論Ⅱ
	◆老年看護学実践演習
	◆小児看護学実践特論Ⅰ
	◆小児看護学実践特論Ⅱ
	◆小児看護学実践演習
	◆精神看護学実践特論Ⅰ
	◆精神看護学実践特論Ⅱ
	◆精神看護学実践演習
	◆母性看護学実践特論Ⅰ
	◆母性看護学実践特論Ⅱ
	◆母性看護学実践演習

科目区分	授業科目
専門領域科目	◆在宅看護学実践特論Ⅰ
	◆在宅看護学実践特論Ⅱ
	◆在宅看護学実践演習
	◆公衆衛生看護学実践特論Ⅰ
	◆公衆衛生看護学実践特論Ⅱ
	◆公衆衛生看護学実践演習
研究科目	◆看護学特別研究
共通科目	◆看護学研究方法特論
	◆保健統計学特論
	◆看護倫理学特論
	◆看護管理学特論
	◆看護教育学特論
	◆フィジカルアセスメント特論
	◆遺伝・感染学特論
	◆病態生理学特論

教員一覧

教授

吉澤 千登勢
河端 恵美子
雑賀 美智子
越智 美智子
藤川 真理子
岡崎 具樹
中山 富子
下山 京子
難波 貴代
工藤 恵子
大石 昌也
善福 正夫
榎本 雪
益田 育子
北川 明

准教授

中村 こずえ
西 留美子
道木 恭子
加藤 江里子
坂田 清美
高橋 郁子
猪股 久美
河合 桃代
佐山 理絵

講師

小室 葉月

教員紹介

【判例】 歴：最終学歴 資：資格 業：主な業績

吉澤 千登勢 Yoshizawa Chitose

研究科長／教授
博士（医科学）

研究分野 看護倫理学／医療倫理学、看護教育学、基礎看護学、専門職連携教育

研究項目 看護職の倫理的責務、倫理教育プログラム、教育力・学士力、専門職連携実践

歴 山梨大学大学院 人間環境工医学専攻
博士課程（医学部：臨床倫理学講座）修了

資 保健師、看護師、養護教諭第一種免許

業 ●Behavior of medical professionals threatening human rights and dignity of patients: Findings from interviews with nursing students./The 22th EAFONS, Singapore./共著（科研費報告:研究分担者）,2019. ●多職種（医師、看護師、理学・作業療法士、社会福祉士）倫理連携研修プログラムの開発、地域ケアリング、Vol.20（5）,p60-62,北隆館、共著（科研費報告:研究代表者）,2018.

河端 恵美子 Kawabata Emiko

教授
博士（学術）

研究分野 生涯発達看護学

研究項目 更年期ヘルスケア、ウイメンズヘルスケア、産後ケア

歴 新潟大学大学院 医歯学総合研究科
口腔生命科学専攻 博士課程修了

資 助産師、看護師

業 【著書】●「中高年女性健康教育マニュアル指導者用」社団法人日本家族計画協会共著2003 ●「ウイメンズヘルスナーシング 女性のライフサイクルとナーシング（第1版）女性の生涯発達と看護」ヌーヴェルヒロカワ共著2005 ●「周産期看護学アップデート」中央法規共著2008 ●「更年期医療ガイドブック」金原出版共著2008 ●「性の健康と相談のためのガイドブック」中央法規共著2014 ●「産後ケア講座」ヒューマンアカデミー株式会社共著2018 【論文】●「助産師が更年期の女性とのかかわるための基礎知識」助産師雑誌 第72巻第7号,506-513,単著2017

藤川 真理子 Fujikawa Mariko

教授
博士（医学）

研究分野 糖尿病学、公衆衛生学

研究項目 地域包括ケアシステムと糖尿病チーム医療、特定健診後の糖尿病要指導者の行動変容

歴 富山医科薬科大学大学院 医学研究科
環境系専攻 博士課程修了

資 医師、薬剤師

業 【賞】●公衆衛生事業功労者（日本公衆衛生協会会長表彰）●東京都医師会功労賞 【著書】●認知症の糖尿病患者を支援する際に注意すべきことはある？ 糖尿病ケア 2018年 15（11）: 1008-1010 メディカ出版 ●自治体における糖尿病対策の取り組み 日本臨床 2005 38 : 565-577 ●糖尿病妊婦の治療・管理とケア ナースのための糖尿病療養指導テキスト 2001年 第14章173-190頁/南江堂 等 【論文】●Effect of eicosapentaenoic acid ethyl ester on proteinuria of streptozotocin-induced diabetes mellitus in rats. Lipids 24, 765-768, 1989 等

岡崎 具樹 Okazaki Tomoki

教授
医学博士

研究分野 分子生物学、内分泌学

研究項目 臨床内分泌学、ゲノム医学、腫瘍生物学

歴 東京大学 医学部 医学科修了

資 医師

業 【著書・論文】●DNA damage response induced by Etoposide promotes steroidogenesis via GADD45A in cultured adrenal cells. Sci.Rep.8, 2018, 9636- ●Conserved mechanism of negative gene regulation by extracellular calcium-parathyroid hormone gene versus atrial natriuretic polypeptide gene. J. Clin. Invest. 89, 1992, 2068 ●最新内科学 2012年07月 | 西村書店 総論4章 各論7) 遺伝学と疾患の分子メカニズム 【賞】●1997 日本内分泌学会研究奨励賞 1998 International Bone and Calcium Invest. (IBCI) Outstanding Investigator award 【その他】日本内分泌学会英文機関月刊誌 Endocrine Journal 編集長 (2017-)

中山 富子 Nakayama Tomiko

教授
博士（歯学）

研究分野 看護教育学、基礎看護学

研究項目 看護教育方法、施設入所の高齢者の摂食嚥下

歴 新潟大学 医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻
摂食嚥下リハビリテーション学分野 博士課程修了

資 看護師

業 ●東京都福祉保健局長賞 ●東京都福祉保健医療学会優秀賞 ●看護教員のための学校経営と管理、共著、医学書院 ●新看護学6 基礎看護学 [1], 共著、医学書院 ●介護老人施設に入所している高齢者の摂食・嚥下機能にかかわる状況と施設の対応 ●異文化看護をどう教授するか

下山 京子 Shimoyama Kyoko

教授
修士（保健学）

研究分野 臨床看護学・小児看護学

研究項目 小児がん患児・経験者・家族に対する研究
キャリアオーバーした患者・家族に対する研究

歴 群馬大学大学院 医学系研究科 博士前期課程修了

資 看護師

業 ●小児がん患児の家族支援に関する研究の動向と課題,群馬大学保健学紀要第4巻,2008.03. ●我が国の小児がん患児への支援に関する文献的考察～近年10年間の文献考察から～小児保健研究70(1),2011.01. ●入院中の子どもの遊びに関する病棟保育士の認識,日本小児看護学会誌22(3),2013.11.9 ●幼児期に小児固形悪性腫瘍で手術を行った小児がん経験者への疾患告知に対する母親の長期的な関わり,日本小児がん看護9(1),2014.09. ●乳幼児期に手術をした小児がん経験者の母親が晩期合併症の出現と向き合うプロセス,日本小児がん看護13(1),2018.09.

難波 貴代 Namba Takayo

教授
博士（看護学）**研究分野** 社会医学、看護学およびその関連分野・
高齢者看護学および地域看護学関連**研究項目** 高齢者虐待・主介護者・被介護高齢者・共依存関係、
訪問看護師・教育プログラム**歴** 長野県看護大学大学院 看護学専攻 博士後期課程単位取得退学
東京医科歯科大学大学院 在宅看護学**資** 保健師、看護師、養護教諭、ケアマネジャー**業** ●利用者満足度を高めるための在宅ケア内容に関する研究、難波貴代、日本保健福祉学会誌12(1)13-22,2004 ●高齢者虐待における介入モデルの開発ー主介護者と被介護高齢者間の共依存関係に焦点をあててー、難波貴代、北山秋雄(他)、日本保健福祉学会誌、13(1)、7-18,2006 ●共依存関係にある主介護者と被介護高齢者間の高齢者虐待における看護介入、難波貴代、北山秋雄、日本アディクション看護学会誌、4(1)、1-10,2007

工藤 恵子 Kudo Keiko

教授
博士（保健学）**研究分野** 公衆衛生看護学**研究項目** 地域看護、地域ケアシステム**歴** 女子栄養大学大学院 栄養学研究科 保健学専攻
博士後期課程修了**資** 保健師、看護師**業** ●公衆衛生看護滑動論 技術演習第3版 クオリティケア 共著 ●地域ケア会議を想定した多職種による仮想事例検討会での住まいの見取り図活用効果、日本公衆衛生雑誌、第64巻9号P556-566

大石 昌也 Oishi Masaya

教授
博士（医学）**研究分野** 内科系臨床医学（小児科学・未熟児新生児学）**研究項目** 非侵襲モニタリング、携帯型医療機器及び生体ガスの
臨床活用、育児用品の安全性**歴** 群馬大学 医学部 医学科**資** 医師、日本小児科学会専門医**専【専門領域】** 未熟児新生児学、周産期医学**【専門外来】** 新生児・乳児健診**業** ●パルスオキシメーターの容積脈波を用いた新生児末梢循環モニタリング、Neonatal Care1995 ●Monitoring neonatal peripheral circulation by electrocardiogram-to-oximeter pulse velocity、Pediatric Research1993 ●早産胎内発育遅延児の管理、周産期医学1994 ●新生児の監視装置、助産婦雑誌1991 ●¹³C-呼吸試験の実際ー基礎と実践の応用、¹³C医学応用研究会1999 他

善福 正夫 Zenfuku Masao

教授
博士（医学）**研究分野** 公衆衛生看護学、保健学**研究項目** 学校保健、産業保健、多職種協働**歴** 東京大学大学院 医学系研究科 社会医学専攻
第3種博士課程満期退学**資** 保健師、看護師**業** ●「介護老人保健施設における薬剤管理に関する多職種協働について」：帝京平成大学紀要、29、239-244 ●「看護系女子短大新入生の主観的健康度の変化ー入試形態および志望の動機の違いによる比較ー」：学校保健研究、55(3)、214-218 ●「介護老人保健施設における看護職と介護職の協働の類型と職務満足度に関する研究」：第43回日本看護学会論文集ー看護総合、179-181 ●「運動部に所属する男子大学生の栄養教育の試み」：日本健康教育学会誌、1(1)、57-68 ●「体育を専攻する大学生の食生活に関する研究」：学校保健研究、35(12)、586-597

榎本 雪 Enomoto Setsu

教授
博士（医学）**研究分野** 内科系臨床医学、境界医学、基礎医学**研究項目** 神経内科学、病態検査学、生理学一般**歴** 福島県立医科大学大学院 医学研究科
病態神経学専攻 博士課程修了**資** 医師免許**業** ●国立医療学会 塩田賞(1997年) ●福島医学会 学術奨励賞(2013年) ●日本臨床神経生理学会 優秀演題賞(2019年) ●アクトリアル脳・神経疾患の臨床 てんかんテキスト New Version(中山書店)共著 ●臨床神経生理学入門(中山書店)共著 ●Nakatani-Enomoto S, et al., Effects of electromagnetic fields from long-term evolution on awake electroencephalogram in healthy humans. Neurosci Res. 2020: S0168-0102 (20) 30036-5.

佐山 理絵 Sayama Rie

准教授
博士（看護学）**研究分野** 母性看護学、助産学、国際看護学**研究項目** 文化と助産、国際母子保健、助産政策**歴** 東邦大学大学院 看護学研究科 博士課程修了**資** 助産師、看護師**業** ●Challenges to Women's Reproductive Health and Rights in Asia, 共著 ●ラオスの産後慣習に関する看護の探索的研究(第1報)ー産後慣習の文化的理解一, 母性衛生, 2016.04, 単著 ●ラオスの産後慣習に関する看護の探索的研究(第2報)ー看護師の文化的コンピテンシーと看護一, 母性衛生, 2016.04, 単著 ●タイ王国パヤオ県のHealth Promotion Hospitalに勤務する看護師の職務満足に関する要因, 国際保健医療, 2016.01, 共著